

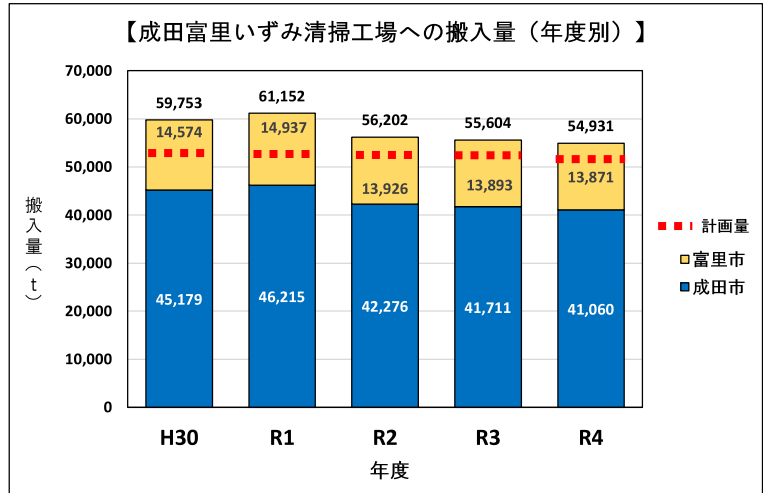


成田市のごみの状況について

○成田富里いずみ清掃工場の現状

成田富里いずみ清掃工場では、成田市と富里市から排出される可燃ごみを高温で溶かして処理しています。

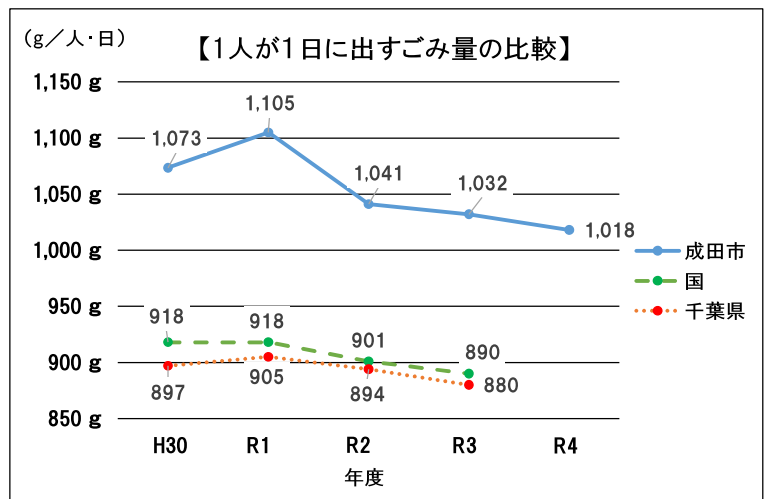
建設時は年間のごみ処理量を5万4千トンと想定していましたが、実際のごみの搬入量は5万5千トン近くになります。なお、炉の定期修繕時に受け入れきれないごみの外部処理費用は約1億円になり、財政的にも大きな負担が発生しています。



○全国との比較

令和4年度に成田市内から出たごみの総量を、市民1人1日あたりに換算すると1,018gになります。右図のとおり、ゆるやかな減少傾向にありますが、全国や千葉県全体と比較すると、約2割も多いことがわかります。

また、平成30年度からの推移をみると、全国・千葉県ともに減少していますが、成田市は1,000~1,100gと高い値での減少傾向にあります。



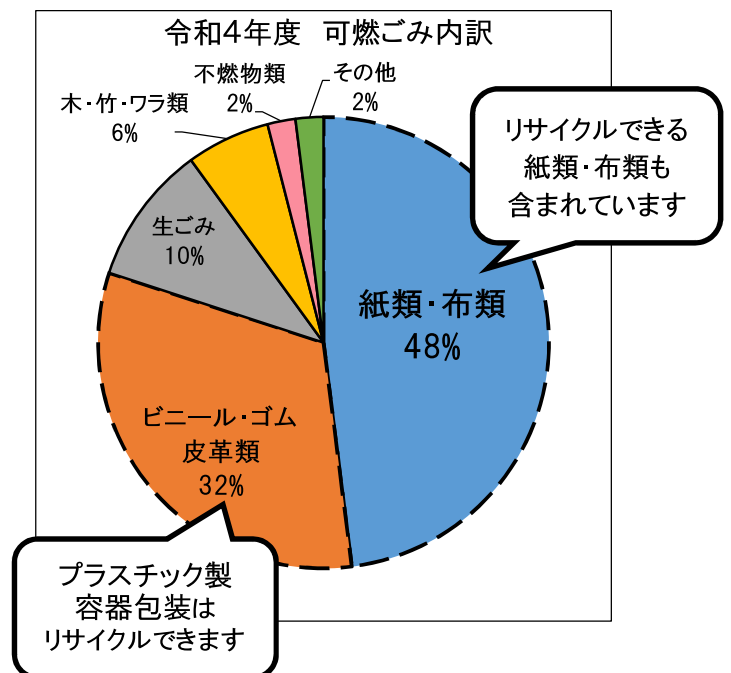
※令和4年度の国及び千葉県のデータは現時点で未発表のため掲載しておりません。

○可燃ごみの内訳

右の円グラフは、成田富里いずみ清掃工場に搬入された可燃ごみの内訳です。（事業系ごみ含む）全体の約半分を占める紙類・布類の中には、リサイクルできる古紙や古着が多く含まれています。

また、3割以上を占めるビニール類にも、リサイクルできるプラスチック製容器包装が含まれています。つまり、多くの資源物がリサイクルされずにごみとして処理されてしまっているのがわかります。適正な分別を徹底すれば、現状の可燃ごみの量を大きく減らすことができます。

ごみの減量化・資源化促進のため、市民の皆様1人ひとりが成田市の分別ルールを守っていただくことが大切となりますので、今後ともご協力をお願いします。



プラスチック製容器包装を正しく分別しよう!

💡 プラスチック製容器包装の分別フローチャート

Q プラマーク (♻️) は付いていますか?

はい ↓

いいえ →

可燃ごみ (青色の指定袋) で出してください

Q 水で軽くすすいで汚れが落ちますか? ...

はい ↓

いいえ →

プラスチック製容器包装 (白色の指定袋) で出してください > ★ 分別のポイント③・④

★ 分別のポイント①

素材で判断するのではなく、プラマーク (♻️) の有無で判断します

プラスチック製容器包装は、
中身の商品を使ったら不要になる

プラスチック製の入れもの (容器) または 包み (包装)



卵パック



CD ケース



お菓子の袋



牛乳パック

→ バケツやハンガーなどのプラスチック製品は、容器でも包装でもないので対象にはなりません。

★ 分別のポイント②

水で軽くすすいでも汚れが落ちないものは可燃ごみとして処理します

中身が残っているもの

水で軽くすすいでも
汚れが落ちないもの

臭いが強く残っているもの



マヨネーズの容器や
歯磨き粉のチューブ等



納豆のパックや
レトルト食品のパウチ等



整髪料や
柔軟剤の容器等

➡️ 可燃ごみ (青色の指定袋) で出してください



こういったものを入れてしまうと、リサイクルする過程で
他のきれいに分別されたプラスチック製容器包装を汚してしまいます。

ひと手間で
もっとリサイクル

納豆のパックやケチャップの容器などは、食器洗いの残り水を活用してしばらく浸しておいたり、中に水を入れて振ったりすると汚れが簡単に落ちます。そのようにひと手間を加えて汚れが落ちたものは可燃ごみではなくプラスチック製容器包装として出すことができ、貴重な資源としてリサイクルされます。

★分別のポイント③

二重袋はやめましょう

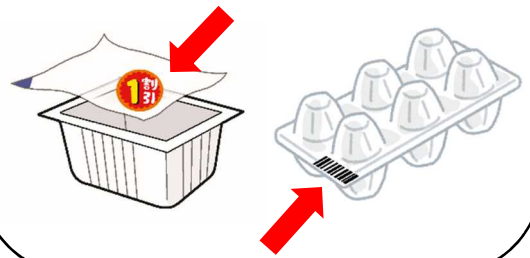
処理施設では、機械で指定袋を破り、手作業で異物や汚れてリサイクルできないものを選別しています。プラスチック製容器包装をレジ袋などに入れてからその袋を指定袋に入れて出すと選別作業の妨げになります。プラスチック製容器包装は、直接指定袋に入れてください。



★分別のポイント④

紙製シールは完全にはがしきらなくても大丈夫

プラスチック製容器包装に付いている値札やバーコードなどの紙製シールは簡単にはがせる場合は、はがしていただき、はがすのが難しい場合はそのまま指定袋に入れていただいて構いません。



危険なものを

混ぜないで。うな。



乾電池・リチウムイオン電池・ライターなど



収集車やリサイクル工場の中で発火したり爆発したりする危険があります。

※使用済みのリチウムイオン電池はお近くの回収協力店へお持ちください。

回収協力店の検索はこちらから（一般社団法人 JBRC）

※乾電池は有害ごみ、使い切ったライターは
金物・陶磁器・ガラス類で排出してください。



カミソリ・注射器など



作業員がケガをしたり、感染症に感染したりする危険があります。

※カミソリなどの刃物は新聞紙などで包んで金物・陶磁器・ガラス類で排出してください。

※在宅医療で発生した注射器や点滴セットは医療機関に返却するか、回収を行っている薬店・薬局に処理を依頼してください。

雑がみ保管袋を配布しています！

成田富里いずみ清掃工場で処理される可燃ごみのうち、約半分は紙類・布類です。その中でも可燃ごみとして捨てられやすいのが、「雑がみ」です。

この「雑がみ」の分別を促進するため、市では「雑がみ保管袋」を配布しています。



★使い方・出し方

① 雑がみ保管袋に雑がみを集めよう。



② たまったら いらぬ紙袋に雑がみを入れ替えよう。



③ ひもで縛って集積所へ。



袋は、保管用として、繰り返しご利用ください。

【配布場所】

クリーン推進課(市役所 5 階)、行政資料室(市役所 1 階)、成田富里いずみ清掃工場、成田市リサイクルプラザ、下総支所、大栄支所、各公民館、保健福祉館、もりんぴあこうづ、三里塚コミュニティセンター

※無くなり次第、配布終了となります。



雑がみの分別について、市のホームページで紹介しています。左記の QR コードからご覧いただけます。